

デフレ脱却、経済再生に向けて ～政府・日本銀行の連携～

平成28年9月30日

伊藤 元重

榊原 定征

高橋 進

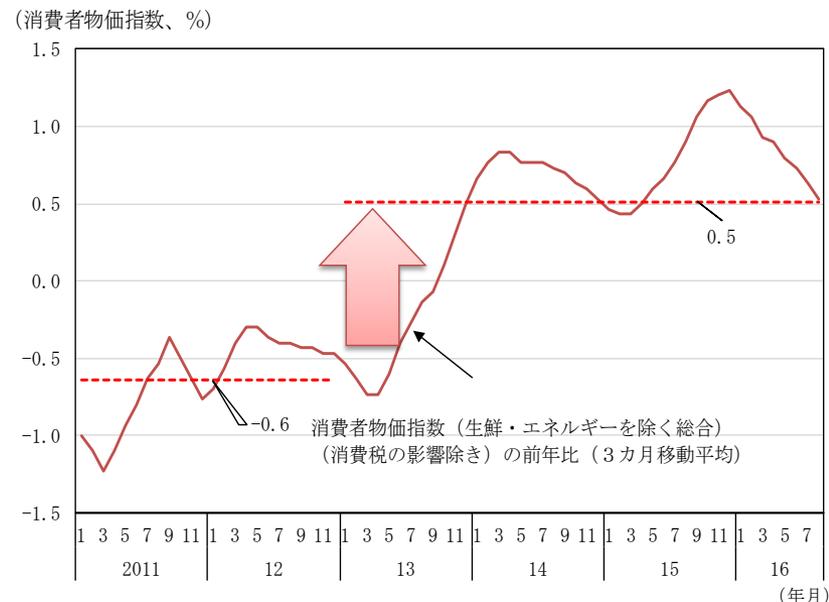
新浪 剛史

日本銀行による総括的検証

○今般の「総括的な検証」は、以下の点を総合的に分析し、日本銀行の考えを明らかにしたもの。市場との対話を円滑に進めていく上で、有意義。

- ・量的・質的金融緩和の導入は、財政政策等政府の取組みと相まって、実体経済の好転に大きく寄与。日本経済をデフレではない状況に転換、貸出金利や社債・CP金利が低下。
- ・他方、2%の「物価安定の目標」を達成できていないのも事実。
- ・総括的な検証において、
 - ✓過去の物価に引きずられ予想物価上昇率が十分に引き上げられなかったこと、
 - ✓マイナス金利政策については金融機関の収益力に影響(副作用)が生じうる可能性があること等が明らかとなった。

図1 消費者物価指数



デフレ脱却、経済再生に向けた政府・日本銀行との連携

- デフレ脱却、経済再生の実現のためには、働き方改革、規制・制度改革、成長戦略、財政政策により潜在成長力を引き上げていくべき。
- これにより、自然利子率(実体経済の実力で決まる金利)が上昇、金融政策の効果がより一層発揮(自然利子率と実質金利の差が拡大、金融環境がより緩和的に。)

日本銀行への期待、政府の役割

- 日本銀行には、デフレ脱却に向けて、着実な取組を期待する。
 - ・マイナス金利政策と国債買入れの組み合わせにより、短期金利に加えて長期金利も中央銀行が影響を与えられるのであれば、経済・物価・金融情勢を踏まえて長短金利を操作していくよう適切な金融政策運営を期待。
- 政府は、デフレ脱却と持続的経済成長の実現に向け、機動的マクロ経済政策運営を行い、日本経済の競争力と成長力の強化に向けた取組を強力に推進していくべき。
 - ・第二の矢、第三の矢の連携等について諮問会議で評価を行うべき。

○日本銀行への期待

①丁寧な説明

金融政策の運営上、政策の意図を市場関係者に丁寧に説明し、コミュニケーションを円滑にすることが重要。

②物価見通し

- ・日本銀行としての物価見通しを示すことは、各経済主体の期待形成に働きかけ、金融政策の効果を高める観点から、今後とも重要。
- ・物価見通しからの上振れ、下振れさせうる要因(リスク)を、引き続き丁寧に点検していくことを期待。

③各政策手段の効果と影響

政策手段の効果と影響(副作用)の両面を精査、総合的に勘案し、2%「物価安定の目標」実現に向け、金融政策運営を期待。

○政府の役割

- ①長年課題として指摘されてきた働き方改革の早急な具体化や、規制・制度改革、成長戦略、財政政策による取組みの強化。(労働参加の拡大や生産性の向上による潜在成長力の引上げ。)
- ②継続的な賃金引上げを促進し、物価上昇につなげていく。
- ③「未来への投資を実現する経済対策」の早期実行。
- ④持続可能な財政構造を確立するための取組の着実な推進。このため、「経済・財政再生計画」に基づく歳出改革の継続。

働き方改革、規制・制度改革、成長戦略、財政政策、金融政策の連携

図2 働き方改革、規制・制度改革、成長戦略、財政政策、金融政策の連携

